

F A X : 0 3 - 3 5 8 0 - 9 8 9 9

( 担当 法制第一課宛て )

## 民事模擬裁判教材申込書

年 月 日

日弁連法科大学院センター 御中

下記の留意事項を遵守することを前提に、下記教材の購入を申し込みます。

教材：  A B C ・ D E F ( をつけてください )

法科大学院名： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_ ( 登録番号： \_\_\_\_\_ )

送付先住所： \_\_\_\_\_

この申込書に御記入いただいた個人情報は、日本弁護士連合会のプライバシーポリシーに従い厳重に管理いたします。また、この個人情報は、御購入された書籍名とともに、販売管理及び書籍の発送に利用します。

### 民事模擬裁判教材の利用にあたっての留意事項

1. 本教材の利用に当たっては、各教材が実際の事件を素材にしてこれに加工・修正を加えて作成したものであること、及び各法科大学院の民事模擬裁判実施時期が異なり、  
また、前期・後期、更に翌年と同一教材を使用する場合があることをふまえ、以下の点について十分ご留意いただき、学生にもその取扱いに注意するよう徹底してください。  
(1) 本教材一式全部を学生または第三者に貸与または譲渡し、あるいは複写させないこと。  
(2) 本教材及び本教材を用いて作成される訴状・答弁書・準備書面等を第三者に開示しないこと。
2. 本教材は完璧なものであるとは考えておりませんので、各教員においてより質の高いものに改編等していただくことを念頭においております。そして、それを日弁連法科大学院センターにフィードバックしていただき、より良い教材を再度配布して全国の他の実務家教員がより質の高い授業を実施できることを期待しております。本教材の著作権者は日弁連であり、本教材を使用する各教員が自己の経験・知識ないし授業での反省等を踏まえ、本教材を適宜改編ないしバージョンアップした場合でも、本教材に含まれている部分については、日弁連に著作権がありますのでご注意ください。
3. 本教材を利用される各実務家教員におかれましては、是非ともご自身や所属事務所の取扱事件で模擬裁判に相応しい事件の記録等がございましたら、日弁連法科大学院センターにご提供いただきますようお願い致します。また、他の教員等が新規に提供した事件記録を模擬裁判用に改変する作業を行う場合には積極的に参加、協力を頂ければと存じます。